



長良川鵜飼(岐阜県・岐阜市)

株主の皆さまへ

第46期 中間報告書

第2四半期連結累計期間

平成24年1月1日～平成24年6月30日

DSKの経営姿勢

CHALLENGE

INNOVATION

SPEED

Contents

株主の皆さまへ／配当について	02
特集 もっと便利な世の中に 一DSKの事業紹介	03
シリーズ・お客さまとともに Vol.8	06
平成24年12月期 第2四半期(累計)の業績について 連結財務ハイライト／事業別の業績／第2四半期(累計)連結財務諸表(要約)	07
DSK Topics	11
会社概要及び株式情報	13
Go! Go! DSK	14
Vol.3 節電の夏、ITで省エネ対策へ貢献	
DSK ラウンジ	裏表紙

表紙について

「長良川鵜飼(ながらがわうかい)」



金華山とその山頂にそびえる岐阜城を背景に、名水百選に選定されている清流長良川で鵜飼は行われています。鵜飼は鵜匠が鵜をあやつり魚を捕える漁法で、およそ1300年の歴史があります。また、長良川における鵜飼は日本で唯一皇室御用の鵜飼であり、鵜匠は正式な職名を「宮内庁式部職鵜匠」といい、代々世襲で親から子へとその技が受け継がれています。

(写真:岐阜新聞社提供)

DSK

GIFU

株主の皆さまへ

株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

情報サービス業界の変革期において、当社は従来提供しておりますサービスの継続と、新サービスの推進、またコスト改善への対応などを行った結果、第2四半期連結累計期間の業績は、計画を大きく上回り、過去最高の売上高(前年同期比14.9%増)を確保することができました。

情報サービス事業では、郵便局の「ふるさと小包」事業に昭和61年から当社は携わっており、同事業のラベル印字やデータ入力などその多くの業務をご発注いただいております。また、クラウドサービスの分野では、IDC(データセンター)サービスの品揃えや、全国4ヶ所の他社IDCとの共同提案を目的としたアライアンス体制の構築、Google関連製品のセールス強化などを進めております。

一方、収納代行サービス事業では、主力サービスのコンビニ収納代行サービスの売上が順調に増加しております。現在、ドラッグストアやブックストア、地域スーパーマーケットなどの新たなチャネルづくりも進めており、総合決済サービスプロバイダーとして「ECで生活を便利に! 豊か



代表取締役社長執行役員 COO
(最高執行責任者)

たなか やすのり

田中 靖哲

代表取締役会長執行役員 CEO
(最高経営責任者)

みやち まさなお

宮地 正直

に!」を目指し、これからも皆さまに必要とされるサービスを提供してまいります。

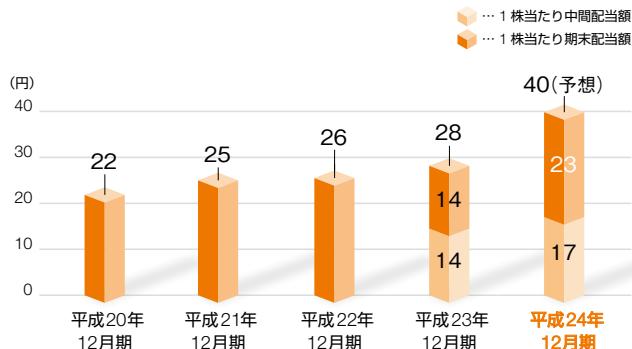
また当期は情報サービスと収納代行サービスのシナジーから生み出された新規事業として、国内外の送金サービスにも取り組むなどしております。

今後の3ヶ年経営計画においては、平成26年12月期に売上高280億円突破を目指し、さらなる成長に努めてまいります。

最後に、皆さまからの一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

配当について

当社では上場以来、毎年増配を維持してきており、平成24年12月期の年間配当額は、中間17円、期末23円(平成23年12月期の売上高200億円突破特別配当5円を含む)の年間合計40円を予定しております。



特集

もっと便利な世の中に —DSKの事業紹介—

郵便局

全国の郵便局窓口で受け付けた「ふるさと小包」のデータ入力・ラベル印刷等の業務を受託しています。また、自治体公金、公共料金、その他各種代金の回収を代行するサービスをご提供しています。



家電量販店、ホームセンター

空調遠隔制御システムとLED照明制御システムを相互に連動させるクラウド型のエネルギー管理システムの共同開発に取り組んでいます。この開発により、これまでの手動操作からシステムでの自動制御をすることで、インフラとマネジメントとの統合化が実現し、低コストで空調とLED照明を利用することが可能となります。



03

DSK

株式会社 電習システム

オフィス

クラウド・コンピューティングの「Google Apps」を導入することで、電子メールをはじめとする企業組織内の情報共有化や、コミュニケーションの円滑化を目的とした様々なグループウェアの機能を、Webブラウザから世界最高レベルで、いつでもどこでも、使うことができます。さらに、グループウェア管理の手間も大幅に削減することができます。

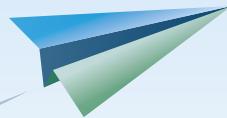


モバイル

iPadをはじめとするタブレット端末のモバイルアプリの開発に取り組んでいます。これまでに、金融企業の渉外支援、配送・商品販売支援、工場ライン作業指図支援などのアプリの開発や、教科書の電子書籍化など、様々なモバイルアプリの開発を進めています。



企業活動や日常生活を効率化するシステム開発やサービスをご提供しています。



データセンター

情報サービスと災害対策・情報セキュリティを完備したデータセンター設備を提供するDSK-IDCデータソリューションサービスは、お客さまの大切なデータを強固に守ります。



自宅

商品、チケット、旅行サービス、コンテンツなどの販売事業者に対し、ECサイトでのクレジット決済や、携帯電話からのお支払いができる「モバライ☆DSK」などのペーパーレス決済サービスをご提供しています。これによりECサイトの利用者は自宅にいながらお支払いが可能になります。



04

歯科医院

患者さんの予約などの管理や、カルテ入力、診療会計の計算から処方箋、領収書の発行までを、パソコンからの簡単な入力で一元管理をすることができる歯科医院向け総合システム「DENTAL QUEEN (デンタルクィーン)V」をご提供しています。



コンビニエンスストア

当社は、通販会社などの事業者が商品代金を回収する際に、コンビニエンスストアで代金・料金を代理受領するコンビニ収納代行サービスを業界に先駆けて開始いたしました。現在、大手4社を含むコンビニチェーン17社及びゆうちょ銀行と契約し、全国70,000以上の窓口で収納代行サービスをご提供しています。

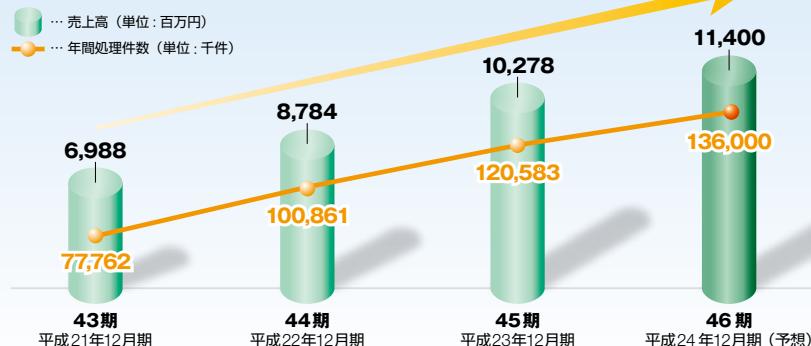


次ページのClose UP!もご覧ください。▶▶

DSKの 収納代行ネットワーク

コンビニエンスストアなどでの収納代行サービスは年々需要が高まっており、社会インフラの一つとなってきております。DSKの収納代行サービスは、3,000社以上の事業者とのお客さまとの決済について、コンビニエンスストアを中心に年間1億2千万件以上取り扱っております。今後はドラッグストアやスーパーマーケットなどの新たな決済チャネルの拡大や、払込票を使わないクレジット決済、電子マネー決済などペーパーレス決済サービスの機能強化を図り、サービスレベルの向上を目指してまいります。

●収納代行サービス事業の業績推移



収納代行サービスの仕組み



NEW BUSINESS

国際送金サービス

コンビニ・ウエスタンユニオン
国際送金サービス

世界最大級の国際送金事業者ウエスタンユニオンと提携し、平成24年2月から「コンビニ・ウエスタンユニオン国際送金サービス」を開始いたしました。これまで培ってきたコンビニ収納代行サービスのネットワークインフラを活用して、利便性を追求する新たなサービスの提供を推し進めてまいります。

・展示会&イベント

より多くのお客さまに当社のサービスを知っていただくために、イベントや展示会への出展などを積極的に行ってまいります。





幅広いオプションで返金・送金を可能にする 「DSKスマート送金」

■ お取引の経緯

株式会社アミューズ様は、総合エンターテインメント企業として、人々が喜びと感動を共有できるエンターテインメントの創造をテーマに事業を行っております。その事業内容はアーティストの活動を中心とした「アーティストマネージメント事業」、映像作品の企画制作・販売を中心とした「メディアビジュアル事業」、事業活動から生まれる各種権利を管理保有し活用する「コンテンツ事業」の3つに分かれています。

アミューズ様には従来アーティストグッズ販売、ファンクラブの会費回収に、当社のコンビニ収納代行サービスをご利用いただいております。今回はさらに、アーティストグッズ販売サイトでのお客さまへの返金に「DSKスマート送金」をご採用いただきました。通販事業を行う上で、返金作業は図らずも発生してしまいます。アミューズ様も以前より、返金作業を確実にしかも効率的に行いたいと考えられており、お客さまの銀行口座への振込み作業を大幅に軽減できる点、送金資金を予め当社信託口座へ入金できる仕組みなどをご評価いただき、今回のご採用に至りました。

■ 「DSKスマート送金」サービスの概要

「DSKスマート送金」は当社が返金希望者への口座情報を取得し、振込を代行し、企業さまの返金作業を軽減するサービスです。送金資金は信託管理に対応しており、企業さまの業務負担を軽減しながら安全にご利用いただくことができます。



● お客さまからのコメント

電算システムさんとはコンビニ収納代行サービスを通じてお付き合いが始まりましたが、決済に関わる重要なファクター全般についてサービスの提供が可能であり、しかも安定性・データの保全性が高く信頼できるので、協力会社の枠を超えた関係が構築できております。これまでのお付き合いを通して、電算システムさんのサービスはアフターフォローが充実しており、まさにEC決済の総合ソリューションパートナー企業という印象があります。

今回の「DSKスマート送金」についても、お客さまサービス向上を目的として以前より注目しておりましたが、実際に採用が決まった後も要件定義から導入までスムーズに行うことができました。この対応の速さ、柔軟性が電算システムさんの魅力だと感じております。

当社グループの平成24年12月期(第46期)
第2四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年6月30日)における
業績・財政概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

■ 業績・財政概況

当社グループは、新しい価値の創造により、顧客に感動を、社員に夢を、株主に満足をもたらす経営理念の下、従来にも増して継続的な営業努力と効率的な事業運営を図り、売上の拡大と原価の抑制に努め、経営計画の達成を目指しております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は115億21百万円(前年同期比14.9%増)、利益においては、営業利益が3億48百万円(前年同期比22.0%増)、経常利益が3億61百万円(前年同期比25.3%増)、四半期純利益が1億95百万円(前年同期比38.2%増)となりました。

また、連結財政状態の概要については、当第2四半期連結累計期末における総資産が、前連結会計年度末と比較して111億90百万円減少し、188億7百万円となりました。これは、収納代行サービス事業に係る預り金の入出金のタイミングの影響を受けて金銭の信託が113億72百万円減少したことが主な要因となっております。負債は前連結会計年度末と比較して113億41百万円減少し、128億65百万円となりました。純資産は前連結会計年度末と比較して1億50百万円増加し、59億41百万円となりました。

■ 通期の業績予想について

当第2四半期連結累計期間の業績は期首予想に対して、売上高は3億31百万円(3.0%)増、営業利益は33百万円(10.5%)増、経常利益は39百万円(12.1%)増、四半期純利益は20百万円(11.4%)増と順調に推移しました。この結果及び今後6ヶ月間の見通しを加味した平成24年12月期の通期連結業績予想は、売上高234億円(前期比11.3%増)、営業利益9億円(前期比10.3%増)、経常利益9億5百万円(前期比9.1%増)、当期純利益4億90百万円(前期比8.7%増)を見込んでおります。引き続き情報サービス事業、収納代行サービス事業における売上の拡大と利益の向上を図るため、より付加価値の高い独自の製品・商品や新たなサービスの創出・提供に努めるとともに、将来の成長分野に要員などの経営資源を重点的に投入してまいります。



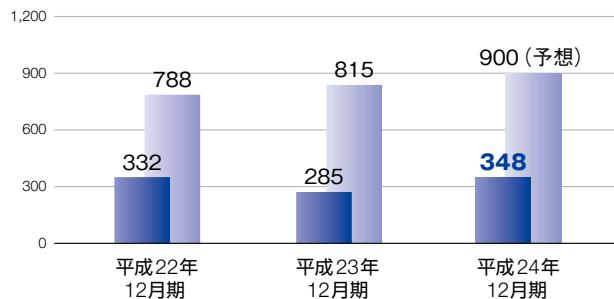
連結財務ハイライト 単位:百万円、単位未満切り捨て

■ …第2四半期 ■ …通期

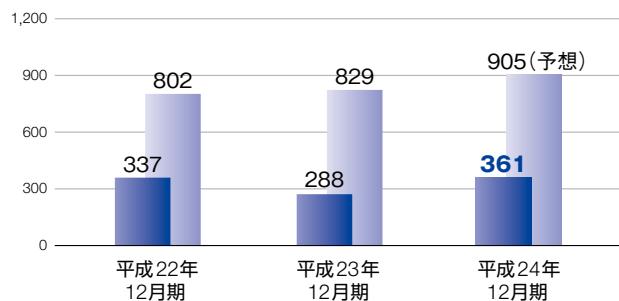
売上高



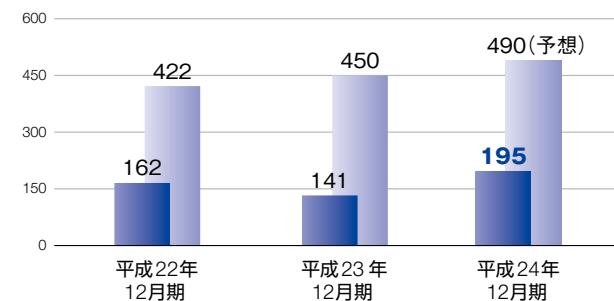
営業利益



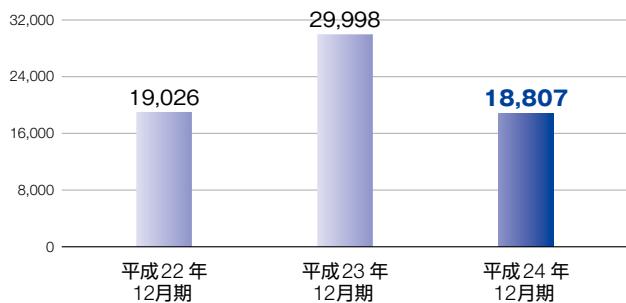
経常利益



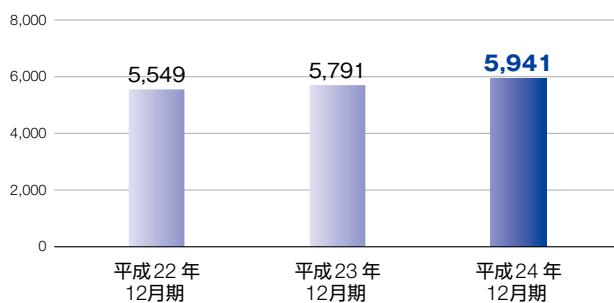
四半期純利益／当期純利益



総資産



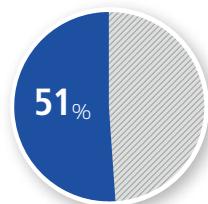
純資産



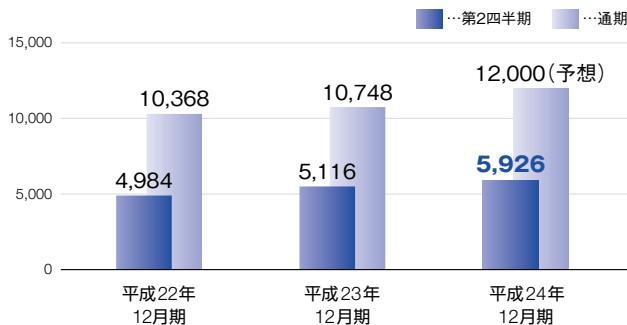
事業別の業績 単位：百万円、単位未満切り捨て

情報サービス事業

コスト削減の推進により、
利益面での改善が進む



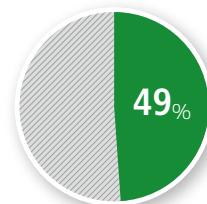
売上高



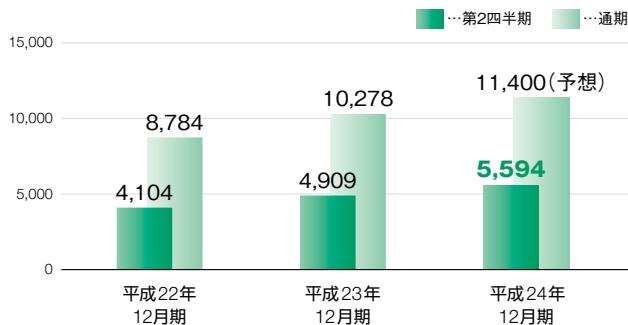
情報サービス事業では、情報処理サービス、システムソリューション、システムインテグレーション及びシステム機器等の商品販売の4つのサービスを展開しております。当第2四半期連結累計期間においては、「ふるさと小包」などの郵便局関連事業のデータ入力及び請求書作成代行等のアウトソーシング業務や、金融企業の渉外支援などのモバイル端末向けアプリ開発が順調に推移しました。また、地方自治体向けのシステム機器販売、物流販売システムなどの企業基幹システム開発や、大口のワークステーション機器販売、ガス販売業者向けシステム販売などの案件により、売上高は59億26百万円(前年同期比15.8%増)となりました。

収納代行サービス事業

収納代行の取扱件数が増加
売上、利益ともに
計画を上回り順調に推移



売上高



収納代行サービス事業では、コンビニエンスストア、クレジットカード会社、銀行及び電子マネー事業者を窓口とした収納代行サービスを提供しており、大手から中小規模までの事業者へ安全で確実な代金決済の橋渡しを行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、新規取引先の獲得や通信販売業を中心とした既存取引先における収納件数の順調な増加(前年同期比9,168千件増、15.7%増)により、売上高は55億94百万円(前年同期比14.0%増)となりました。

第2四半期(累計)連結財務諸表(要約) 単位:百万円、単位未満切り捨て

四半期連結貸借対照表

	前期末 平成23年12月31日現在	当第2四半期 平成24年6月30日現在
資産の部		
流動資産	27,115	15,830
固定資産	2,882	2,977
有形固定資産	1,308	1,287
無形固定資産	699	615
投資その他の資産	874	1,073
資産合計	29,998	18,807
負債の部		
流動負債	23,876	12,586
固定負債	331	279
負債合計	24,207	12,865
純資産の部		
株主資本	5,718	5,851
資本金	998	998
資本剰余金	697	697
利益剰余金	4,107	4,239
自己株式	△84	△84
その他の包括利益累計額	△7	9
少数株主持分	80	81
純資産合計	5,791	5,941
負債純資産合計	29,998	18,807

〈ポイント1〉総資産

前期末と比較して111億90百万円減少し、188億7百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億53百万円、投資有価証券が1億38百万円増加したものの、金銭の信託が113億72百万円減少、また商品が2億4百万円減少したことによるものです。

〈ポイント2〉純資産

前期末と比較して1億50百万円増加し、59億41百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億32百万円、その他有価証券評価差額金が17百万円増加したことによるものです。

四半期連結損益計算書

	前第2四半期 平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	当第2四半期 平成24年1月1日から 平成24年6月30日まで
売上高	10,026	11,521
売上原価	8,304	9,633
売上総利益	1,721	1,888
販売費及び一般管理費	1,436	1,540
営業利益	285	348
営業外収益	7	15
営業外費用	4	1
経常利益	288	361
特別損失	7	5
税金等調整前四半期純利益	280	355
法人税、住民税及び事業税	321	291
法人税等調整額	△187	△132
少数株主利益	5	1
四半期純利益	141	195

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 平成23年1月1日から 平成23年6月30日まで	当第2四半期 平成24年1月1日から 平成24年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	718	523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△355
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118	△104
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	368	68
現金及び現金同等物の期首残高	1,849	1,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,217	1,679

〈ポイント3〉営業活動によるキャッシュ・フロー

増加した資金は5億23百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少3億57百万円、法人税等の支払額2億15百万円により資金が減少したものの、その他の流動負債の増加3億73百万円、税金等調整前四半期純利益3億55百万円、たな卸資産の減少2億90百万円、減価償却費1億71百万円などにより資金が増加したことによるものです。

当社をより深くご理解いただくために、
当社が取り組んでいる諸活動の内容やトピックスをご紹介します。

1 Topics

「岐阜まつり」へ参加しています

DSKと岐阜まつり

当社は岐阜まつりを地域の方々と直接触れ合うことのできる大事な機会としてとらえており、毎年参加しております。まつりへ参加する目的は、一つは地域企業の役割として、岐阜市の大切な催事を盛り上げ、地域の伝統文化を残していくことが重要であると考えていることであり、もう一つは仕事以外の面で社員の絆を深める機会ととらえていることです。

この岐阜まつりで社員が担ぐ御輿はDSKが特注したもので、総重量は450kgになります。普段は会社玄関に飾ってあり、来社した方々の中には興味を持たれる方が少なくありません。

御輿は一人では担げません。社員一同で御輿を担ぎ練り歩く岐阜まつりは、DSKの社員にとって団結力を高める大切な行事となっています。また、新入社員がDSKの社員となって初めて参加する行事でもあり、御輿はまさにDSKのパワーの源泉であります。



企業理念に基づく事業活動を通じて社会の持続可能な発展に貢献し、各ステークホルダーの皆さまの信頼に応えてまいります。



『岐阜まつり』の由来

人口約41万9千人(平成24年7月1日現在)の岐阜市は岐阜県の県南中央に位置しています。岐阜まつりは岐阜市民の氏神である、伊奈波神社や金神社をはじめとした市内各所の神社が毎年春に行う「例祭」にあやかり、市民の催事として始まったのが由来です。現在は、4月第一土曜日に伊奈波神社で行われる神事で幕を開け、神様が巡幸される神幸祭を中心に岐阜まつりが盛り上がります。この時には御輿を中心に、獅子や社名旗、五色旗などで市内は華やかに彩られます。

当社の半纏▶

岐阜まつりに参加するとき、DSKの社員は必ず会社の半纏(はんてん)を身に着けます。半纏は、半天、半纏、半天、半纏とも書きますが、この「半」は「絆」であり、社員同士、社員と岐阜市民を結ぶ大事な絆の象徴となっています。



9月開催の「ぎふ清流国体」に当社社員2名が選手として出場します



はっとり まさやす
服部 将康
 ECソリューション事業本部所属
ハンドボール 出場
 出場チーム名: HC 岐阜
 ポジション: ゴールキーパー



はせがわ なつき
長谷川 菜月
 管理本部所属
競泳自由形
50m・100m 出場

主な成績

- 高松宮記念杯
第2回全日本社会人ハンドボール選手権大会(平成24年7月) 9位
- 第17回ジャパンオープントーナメント大会
東海地区予選会(平成24年6月) 1位
- 第3回チャレンジ・ディビジョン(平成24年1月) 1位

主な成績

- 平成24年度岐阜県選手権水泳競技大会(平成24年7月)
女子50m自由形 1位/女子100m自由形 1位
- ジャパンオープン2012(平成24年5月)
女子100m自由形 7位
- 第88回日本選手権水泳競技大会(平成24年4月)
女子50m自由形 6位/女子100m自由形 5位



岐阜県代表として、
 持てる力を十分に発揮し、
 地元振興と天皇杯獲得に
 貢献いたします。

岐阜国体では自己ベストを更新して
 岐阜県のために入賞を目指し
 頑張ります。



ぎふ清流国体
 輝けはばたけだれもが主役

開催期間 本大会:平成24年9月29日～10月9日 水泳:平成24年9月13日～17日

第67回国民体育大会が岐阜県で開催されます。

岐阜県で国体が行われるのは、第20回岐阜国体以来47年ぶり2度目。



会社概要及び株式情報 (平成24年6月30日現在)



■ 会社概要

商号	株式会社電算システム(Densan System Co.,Ltd.)
設立年月日	昭和42年3月14日
資本金	9億9,801万円
従業員	連結687名(単体579名)
事業内容	情報処理サービス、システムソリューション システムインテグレーション、商品販売 収納代行サービス
本社所在地	岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀東急ビル TEL.03-3206-1771

■ 株式の状況

発行可能株式総数(普通株式)	14,880,000株
発行済株式の総数(普通株式)	4,620,000株
株主数	2,118名

■ 大株主

株主名	持ち株数(株)	持ち株比率(%)
電算システム従業員持株会	509,728	11.03
ヒロタ株式会社	445,050	9.63
宮地 正直	200,035	4.32
株式会社十六銀行	185,950	4.02
三井情報株式会社	185,000	4.00
株式会社大垣共立銀行	179,950	3.89
岐阜信用金庫	179,950	3.89
有限会社福田製作所	125,000	2.70
内木 一博	106,335	2.30
株式会社トーカイ	103,590	2.24

※順位においては、自己株式127,272株を除く。

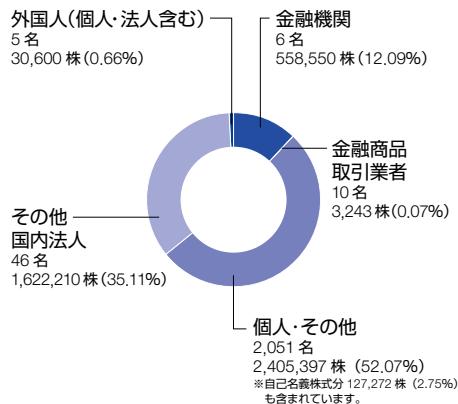
■ 取締役及び監査役

代表取締役会長執行役員 CEO	宮地 正直
代表取締役社長執行役員 COO	田中 靖哲
常務取締役執行役員	小林 領司
取締役執行役員	田口 仁
取締役執行役員	浅野 有一
取締役執行役員	加藤 徹
取締役	廣田 孝昭
取締役	竹中 正美
取締役	机 重樹
監査役	澤邊 茂美
監査役	富坂 博
監査役	野田 勇司

(注)

- CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者
- COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者
- 廣田孝昭、竹中正美、机重樹の各氏は、社外取締役(非常勤)であります。
- 富坂博、野田勇司の両氏は、社外監査役(非常勤)であります。

■ 所有者別株式分布状況



節電の夏、 ITで省エネ対策へ貢献

当社は三井情報株式会社の代理店として空調遠隔制御システム「クラウド型省エネルギーマネジメントサービス GeM2システム」を販売しております。

GeM2システムの販売代理店契約の 経緯とそのねらい

今年も節電対策が社会的なテーマであり、省エネルギー社会への関心はますます高まってきております。当社は以前より三井情報株式会社のパートナーとして、省エネルギー化をシステムで実現する空調遠隔制御システム「クラウド型省エネルギーマネジメントサービス GeM2システム」(以下GeM2システム)の開発プロジェクトに携わっておりましたが、平成23年に販売代理店契約を締結し、販売を開始しております。

当社がGeM2システムの販売を開始したねらいは、このシステムが、空調のみならず建物内の様々な設備を遠隔で操作するシステムであり、省エネルギー社会に十分貢献できると確信したからです。さらに、今年は省エネ機能を一歩進め、サイバートランスジャパン株式会社が開発・販売するLED照明制御システム「IP-LED^{*}」との相互連動を目指し、共同で開発に取り組んでおります。

このシステムの今後の目標として、スマートシティ構想やユビキタス社会などの近未来構想への実現に寄与していきたいと考えております。

※「IP-LED」は次世代インテリジェント照明でLED照明の省エネ効果をこれまでの手動操作からシステムへ自動制御にすることで制御と見える化を実現するシステムです。

Q. 「クラウド型省エネルギーマネジメントサービス GeM2システム」でどのように省エネができるの?

GeM2システムは、データセンターから遠隔操作で空調を制御し、空調カテゴリー単位で制御を行うことで、冷やし過ぎ・暖め過ぎのムダを排除し、快適さを損なうことなく省エネを実現します。

遠隔の空調制御では、隣接した空調カテゴリーの温度や送風モードを監視し、省エネ運転へ10分間隔で自動判断して変更します。

Q. 「クラウド型」って具体的にどういうこと?

システム導入対象建物に制御盤を設置し、制御盤とデータセンター間は、携帯電話キャリア系通信網を活用して通信を行います。この通信網を介した制御システムがクラウド型サービスにより提供されております。

Q. LED照明制御システムとの連動によって効果は上がるの?

通信インフラと運用マネジメントとの統合化が実現でき、低コストでLED照明と空調の両方を制御するサービスの提供が可能となります。これは社内試算ですが、GeM2システムを使うことによって電気代が1/4~1/5に抑えることができます。



ソリューションビジネス事業部
課長 横田 正樹

IRサイトのご紹介

個人投資家向けIRサイトを設置しております。是非、ご利用ください。

IR情報 URL

<http://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>



個人投資家向けIRイベント、説明会参加実績

平成24年12月期

【KCR総研主催】	株式講演会&企業IRフェアin大阪	平成24年2月25日
【KCR総研主催】	株式講演会&企業IRフェアin東京	2月27日
【JI誌・宝印刷主催】	個人投資家のための会社説明会	2月29日
【東証主催】	東証IRフェスタ2012	3月9日・10日
【日本証券アナリスト協会主催】	個人投資家向け会社説明会	3月21日
【名証主催】	名証IRエキスポ2012	7月20日・21日



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 http://www.densan-s.co.jp/
上場証券取引所	東京証券取引所/名古屋証券取引所
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金計算書について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、相続特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましては、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株式会社 電算システム